



「第6回食育活動表彰」で
オルタナティブファーム宮古が
消費・安全局長賞を受賞しました

「食育活動表彰」は、農林漁業、食品製造・販売などの事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じて、食育関係者の取組を対象として、その功績を称えるとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国へ展開されていくことを目的として、農林水産省が実施しています。

株式会社オルタナティブファーム宮古では、作物の生産から食卓に上がるまでの一連の流れを体験できる食育プログラムを実施しています。この食育プログラムでは、現地の畑で実際に行われる黒糖&島バナナスイーツ作り体験だけではなく、現地と様々な開催場所をオンラインでつなぎ、事前に参加者に送付した体験キットを使ったサトウキビの植え付けや黒糖づくり体験を行っています。

このようなウイズコロナに対応した「新たな日常」においても、食育を着実に実施できる取組が高く評

価され、教育関係者・事業者部門の農林漁業者等の部において、第6回食育活動表彰の消費・安全局長賞を受賞しました。



オンラインでさとうきびを学ぶ親子



オンラインで使用する体験キット



報告会の様子



現地体験を楽しむ参加者

お問合せ先
農林水産部 食料産業課

☎098-866-1673



「全国青年・女性漁業者交流大会」で
八重山漁業協同組合資源管理推進委員会の
取組が水産庁長官賞を受賞しました。

全国漁業協同組合連合会は、漁業者が日頃の研究・実践活動の成果を発表し交流することで、水産業・漁村の発展・活性化のための技術・知識などを研鑽することを目的に「全国青年・女性漁業者交流大会」を開催しています。令和4年3月に開催された第27回大会において「多面的機能・環境保全部門」で八重山漁業協同組合資源管理推進委員会が「サンゴ礁の産卵親魚を守るルールづくり」と題した取組を発表し、水産庁長官賞を受賞しました。

この取組は、産卵期に特定の場所に集合して産卵する習性を持つ魚種を産卵期に大量漁獲していたことが漁獲量減少の要因と推定されることから、関係者の理解・協力を得ながら産卵保護区を定め、保護区を示すブイの設置や監視パトロール、釣り人等への協力をお願い等を行ってきたものであり、近年では水揚げ量の減少が止まり成果が現れています。

本大会はオンラインで開催され、授賞式の式典がなかったことから、

5月25日に受賞者の功績をたたえ、今後の取組の発展を祈念するものとして、沖縄総合事務局農林水産部長より賞状代理授与を行いました。



監視パトロールの状況



前列中央：川崎委員長

お問合せ先
農林水産部 林務水産課

☎098-866-1674